

第35回 由利本荘市行政改革推進委員会

開催日時 令和6年3月26日（火）午後1時30分～午後2時30分

開催場所 由利本荘市役所 5階 第8会議室

出席委員（敬称略）

委員長 水野 衛（秋田県立大学システム科学技術学部 学部長）

委員 鈴木 貴大（由利本荘市商工会青年部 部長）

委員 佐々木 奈美子（由利本荘市商工会女性部 副部長）

市出席者及び事務局

総務部長 小川 裕之

総務部行政改革推進課課長 小番 正明

総務部行政改革推進課参事 森 大樹

総務部行政改革推進課主査 鈴木 顕

※「1. 開会」から「2. あいさつ」までは事務局が進行。「3. 案件」以降は委員長が進行。

1. 開会

2. あいさつ

水野委員長よりあいさつ

3. 案件

（1）第4次行政改革大綱実施計画の進捗状況（見込）について「資料1」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

（質問）（株）大内町交流センターの解散後は、道の駅岩城のように民間の会社が運営することになるのか。

（回答）指定管理者を公募し、民間の事業者が運営することになる。今週から公募を始めている。

（質問）観光協会の法人化について、かなり大変だと思うが、例えば指定管理のような形で観光系の経営等に特化した団体等に、本市の観光協会をみてもらうといった可能性はあるのか。

（回答）観光協会の業務を他の団体等にやってもらう形は把握していないが、観光協会が観光施設を持つというやり方をしている美郷町、仙北市では、観光協会がそれによって収益を得て事業を実施しており、そのようなやり方をしているところは全国にたくさんある。

（質問）図書館の指定管理について、教育委員会内部の協議がどうなっているのかはよくわからないが、計画変更により目標達成がズルズルと後ろ倒しになっていないのか気になった。

（回答）図書館の指定管理は全国で民間事業者により行われているが、本市の場合は、中央図書館がカダレーにあり、各地域にも分館的なものがあり職員がいる状態のため、指定管理をする場合、若干イメージが違うことと、カダレーの建物自体が指定管理されているので、その中にある図書館の業務部分だけの指定管理できるのか、事業者側からの疑義が生じており、その辺りの検討のため時間を要している。

（意見）落としどころがないまま、検討を続けてもしかたないので、どこかの時点では決断すべき。平成の大合併は、合併によるメリットを考えてのことだったと思うので、文化施設なので、なかなか統廃合は難しいと思うが、昔の名残はどこかで断ち切らないといけないのかなと思う。

(回答) 現在は、どこの支所でも検索して取り寄せできるし、旧町時代の施設の老朽化も進んでおり、ど  
ういう配置にするのかも含め検討を要する。第4次大綱実施計画の期間はちょうどコロナとか  
ぶっており、そのため事業者との協議が遅れた面もある。

(2) 第4次行政改革大綱の推進期間の延長について「資料2」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 中長期ビジョンは、今は基本的には前市長の策定したものと思うが、市として、10年計画の長  
期ビジョンとは別に、任期中にこなせるであろう4年間の中期ビジョンを持って、それらに合わ  
せて動く、といったことはしていないのか。

(回答) 現状では、市長が変わった際に、総合計画の大筋は変えられないが、中身の見直しは行っており、  
市長の考えを盛り込んではいらぬ。

(質問) 人口減少が進むなど、誰が市長になっても街づくりの大きな考え方の方向性は、あまり変わらな  
いと思うが、目玉となるものがあつたほうが面白い。また、新創造ビジョンはあまり市民に根付  
いていないと感じる。資料があまりに膨大で全部読むのも大変だった。もっとなじむ形で発表し  
てくれたらいいと思っていた。

(回答) ビジョンには、10年間の基本的な考え方として基本構想があり、議会の議決をいただいた上で  
決定しており、そこは変わっていない。途中で市長が変わることはあり、やりたいことや公約も  
あるので、就任後にそれを取り入れており、計画の下の部分はかなり変わっている。それに基づ  
いて毎年の予算編成についても行っており、市長のやりたいことは反映されるようになっている。

(意見) それがわかりやすく可視化されるとよい。

(回答) 今まで紙ベースというのがあつて、それをそのままPDFにしてもスマホでは見づらくなるので、  
そこをどうすれば見やすく出来るかは、行革の課題とも言える。

(意見) 市長もSNSで情報発信されているので、YouTube等も使いながらわかりやすくというのはあるか  
もしれない。特に若い人たちが明るく元気になるような、わかりやすいビジョンがあると、みな  
ながんばるといふ気になれる。見る気がしないというものは止めたほうがよい。行政なので文書  
は文書として必要だが、それとは別にわかりやすく伝えることも必要である。

(3) 方向性を検討する施設等について「資料3-1」「資料3-2」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 小学校はもう統廃合になっているのか。

(回答) これからなるもので、一番堰に東小学校が出来ると統合になって小友、子吉、鶴舞が廃止となる。

(意見) しょうがないことだが、無くなるとさみしいものではある。

(回答) 地元の方々からお話を聞くとさみしいという声もあるが、実際の親やPTAから話を聞くと、小さ  
いところで複式学級でやるよりは、大きい学校で勉強させたいという希望が強い。

(質問) (施設の今後の予定については) HP等で公開して市民が見られるようにし、意見等も出せるのか。

(回答) そのとおりです。譲渡については相手方の事情があり、強引にしようとするものではないし、廃  
止等についても、今の時点で3年後の予定を予めお知らせして、市民のご意見もいただければと  
考えている。

(4) 令和6年度指定管理者制度の更新予定施設等について「資料4」

- ・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 由利本荘市内の公民館は基本的に指定管理で町内会が管理しているのか。

(回答) 平成26、7年頃にすべての市有の公民館等について町内会に指定管理をお願いしている。

市全体では450を超える町内会があり、自分たちで持っている会館がかなり多い。旧町で作った会館が多いのは、岩城、大内が一番多く、ほか由利、本荘の一部にもあるが、かなり数があり、町内で使っていただいているものであり、作るときに寄附いただいたりもしており、できるだけ譲渡により町内に引き受けてもらえればと考えている。

(回答2) 岩城、大内以外は大体自分たちでお金を出し合って作っており、修繕には市の補助金の制度があり、それを活用いただいている。町内によって取り扱いが違うこともあり、公平感もあり、これからもすべての会館を市が維持していくことは難しいと思われるし、使えなくなった場合にまったく同じ物を市が建てることも難しい。

(意見) 町内会館は町内の拠り所だとは思いますが、全部を管理しないといけないのは大変だと感じる。

#### 4. その他

- ・事務局より、行革大綱の期間延長に伴う委員会の開催予定を説明。

#### 5. 閉会